

朱一だよい

京都市立朱雀第一小学校
校長 橋本 真千子
平成26年11月 6日
学校評価特別号

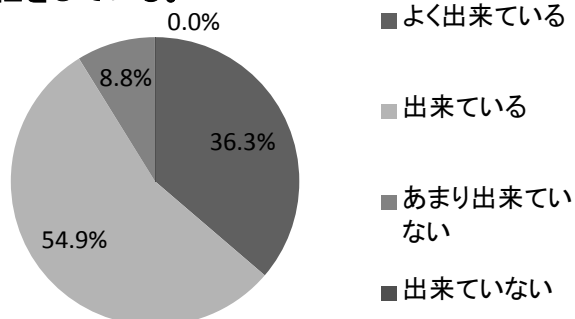
子どもたちにとって「明るく楽しい学校」をめざして！

先日、皆様をお願いしていた学校評価の結果についてご報告いたします。学校評価票は児童数483枚をお配りしました。464枚の回答をいただき、回収率は96パーセントでした。ご協力ありがとうございました。

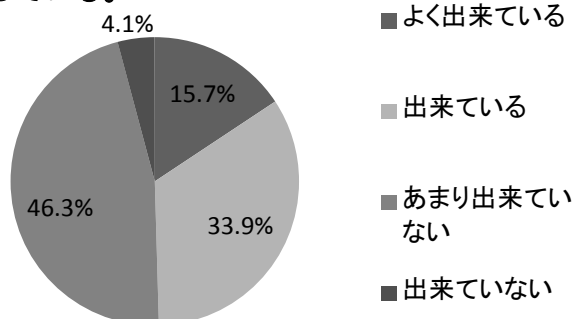
今年度については、保護者の方々が学校の取組に対してどのように評価されたか、ご家庭での取組についてどのように自己評価されているか、そして子どもたちの現状をどのように感じているか、の3つの観点でご記入いただきました。結果は以下の通りです。

【実現度】

学校は、子どもたちが読書に親しむ取組をしている。

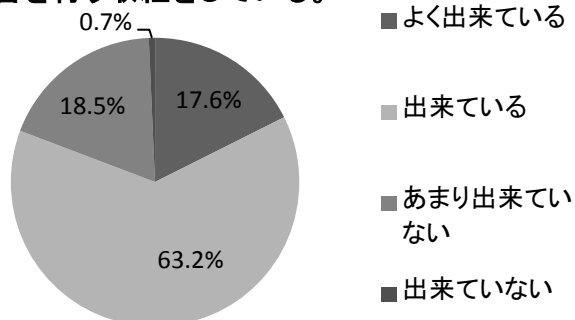


家庭では、子どもが読書に親しむようにしている。

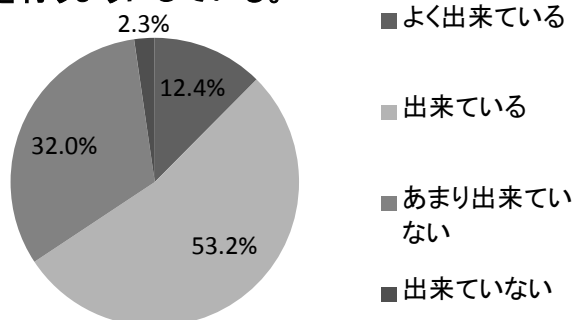


【実現度】

学校は、子どもたちがすすんで家庭学習を行う取組をしている。

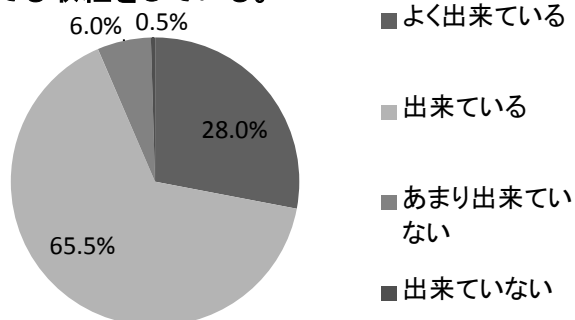


家庭では、子どもがすすんで家庭学習を行うようにしている。

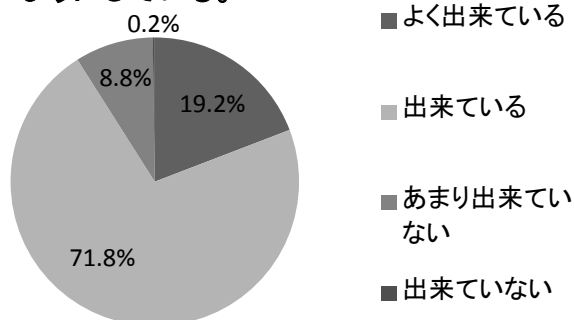


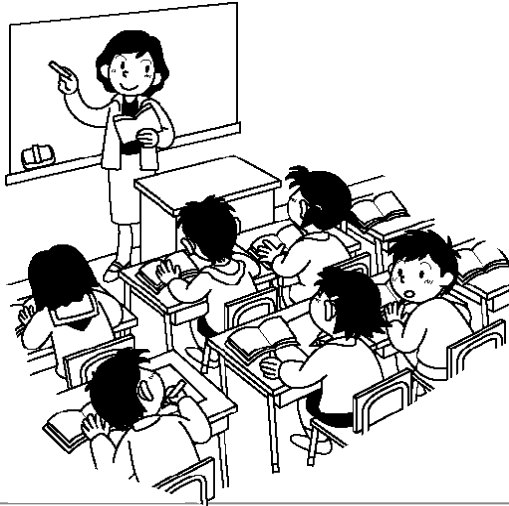
【実現度】

学校は、子どもたちの思いやりの心を育てる取組をしている。

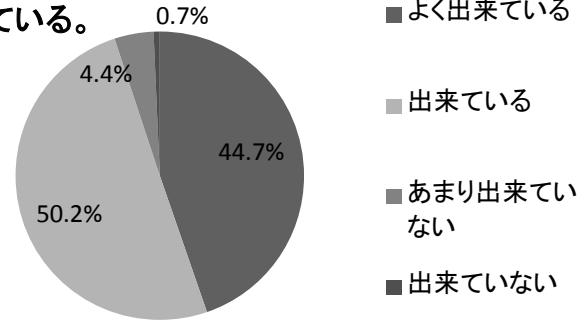


家庭では、子どもの思いやりの心が育つようにしている。

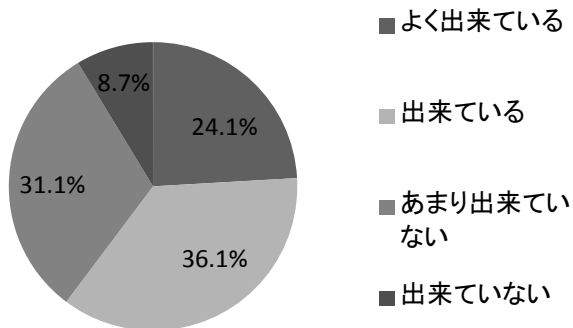




学校は、ホームページや学校だより、
学年だより等により、学校の様子を伝
えている。

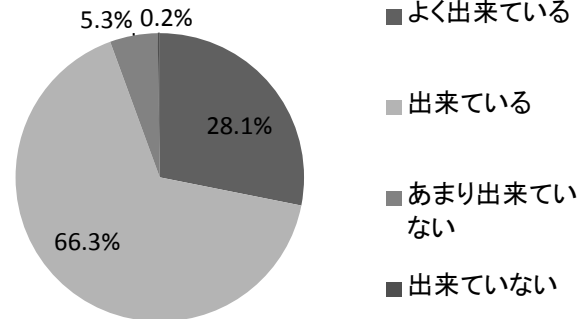


子どもたちは、読書に親しんでいる。

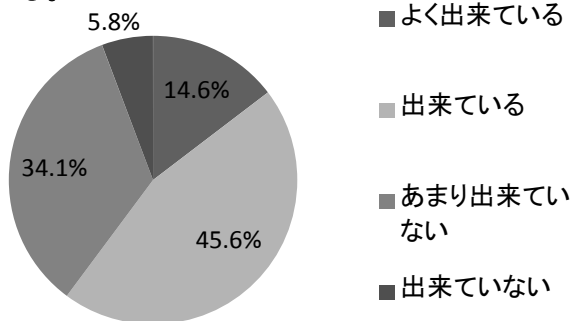


【実現度】

学校は、子どもたちにわかりやすい授
業を行っている。

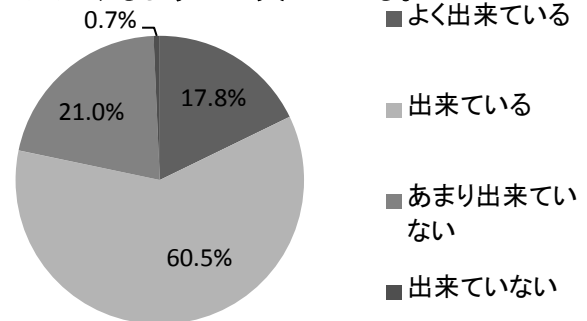


子どもたちは、進んで家庭学習を行っ
ている。

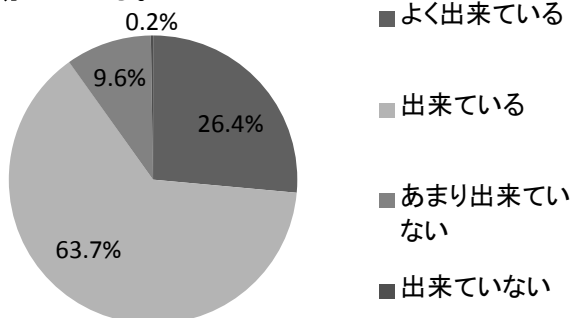


【実現度】

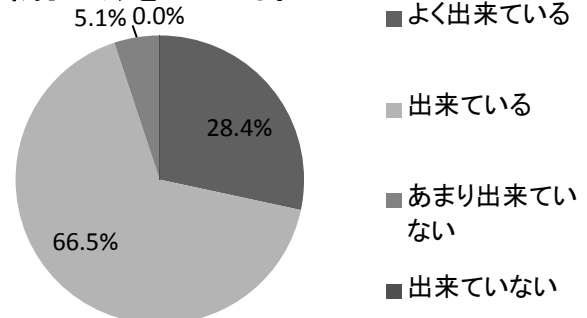
学校は、参観や懇談に多くの方に来
ていただけるように工夫している。



子どもたちは、思いやりの心をもって
行動している。

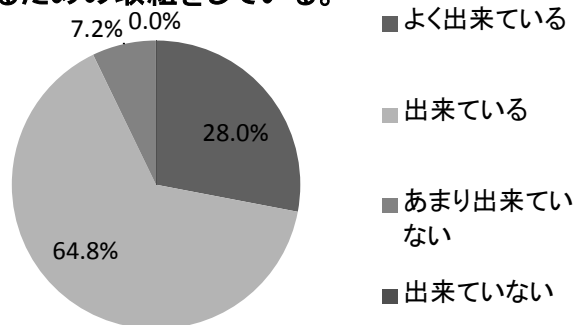


学校は、整理整頓された学習しやす
い環境づくりをしている。

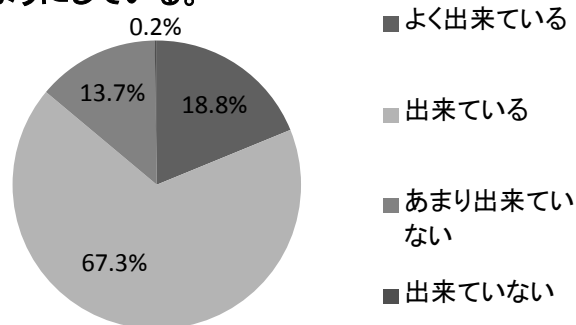


【実現度】

学校は、子どもたちがきまりや約束を守るための取組をしている。

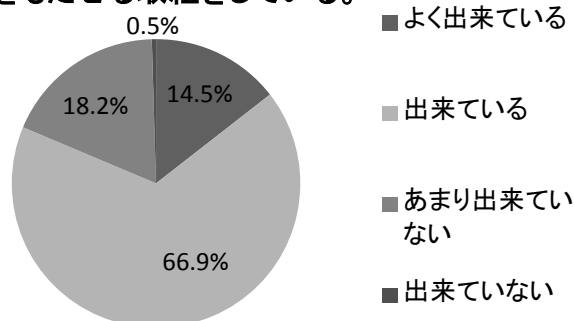


家庭では、子どもがきまりや約束を守るようにしている。

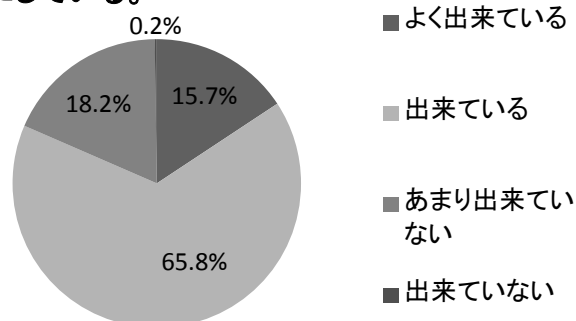


【実現度】

学校は、子どもたちに将来の夢や希望をもたせる取組をしている。

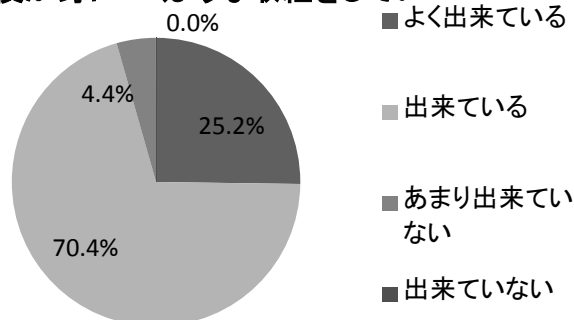


家庭では、子どもが夢や希望をもつようにしている。

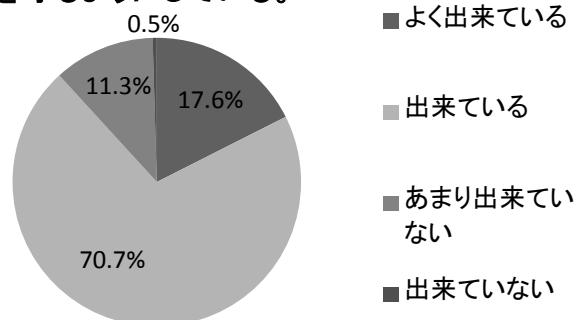


【実現度】

学校は、子どもたちに基本的な生活習慣が身につくような取組をしている。



家庭では、子どもが基本的な生活習慣を守るようにしている。



～ 考 察 ～

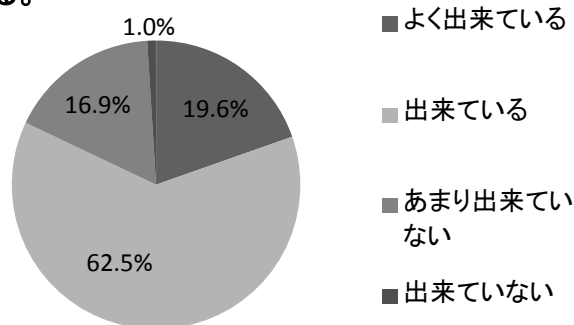
今回は、学校の取組・家庭の取組・子どもの様子の3つの観点から評価をいただきました。ほぼ同じ内容の質問についての回答を3つの観点で比較することで、子どもの実態から必要な取組を見いだせるのではないかと考えました。

全体を通して見ると、児童の様子として実現度があまり高くなかった回答が多かったものは「読書に親しんでいる」「進んで家庭学習を行っている」「将来の夢や希望をもって生活をしている」でした。

まず、読書についてですが、グラフをみると学校での取組については一定

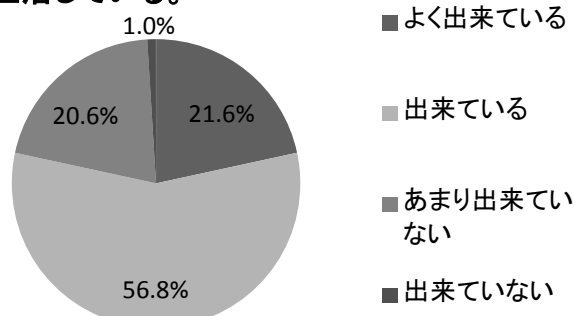
【実現度】

子どもたちは、きまりや約束を守っている。



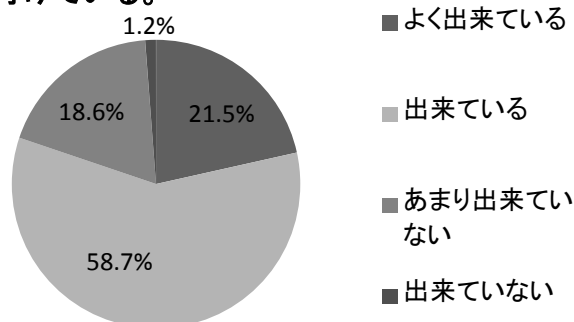
【実現度】

子どもたちは、将来の夢や希望をもって生活している。



【実現度】

子どもたちは、基本的生活習慣を身に付けている。



の評価をいただいているようですが、ご家庭での声かけについては、日々の生活の中ではなかなか難しいようです。学校では授業や朝読書の取組を通して、本好きな子の育成を目指しています。ご家庭でも子どもたちに少しでもお声かけいただき、子どもたちが進んで本に親しむ事ができるようにご協力をお願いします。

次に、家庭学習についての項目ですが、学校・家庭ともに実現度の低い回答が多く、改善の余地があります。学校では、家庭学習が習慣化できるような時間の使い方など子どもたちへ声かけをするとともに、保護者の方への連絡を行いたいと思います。また、ご家庭でも子どもたちに一言「宿題できた？」と声かけいただき、がんばった時に褒めていただくと、それが子どもたちにとって励みになります。よろしくお願いいたします。

将来の夢や希望への見通しについても、20%近くの方々が実現度の低い回答をしてられました。将来の夢や希望がどのようなものなのかという発信について、不足していたようにも感じます。

学校では「どのような職業に就きたいか」ということだけが将来への夢や希望ではなく、「どのような人間になりたいか」「自分はどのようにすべきなのか」のようなこともそれに含まれると考えています。高学年には高学年、低学年には低学年なりの将来展望があるように感じます。様々な機会をとらえて子どもたちと考えていくとともに、その具体について、今後も発信していきたいと思っています。

最後に、全体を通して比較的肯定的な回答が多かったとは思いますが、それぞれ否定的な回答があるのも事実です。しっかりと子どもたちに届く取組を今後も行っていきたいと考えています。また、今回の結果から見えた朱一校のよき、そして課題について、しっかりと見据えて子どもたちと向き合っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。